

(1) 図書館の役割

図書館は、子どもが自分の読みたい本を豊富な図書の中から自由に選び、読書の楽しみを知ることができる場所であり、保護者は子どものための本を選び、専門的な知識を持つ司書に相談することのできる場所です。

また、読み聞かせや読書に関する行事を開催するだけでなく、ボランティアの活動支援や育成、学校図書館へのサポート等、子どもの読書活動を進める取り組みの拠点としての役割を担っています。

【現況と課題】

図書館では、「おはなしのへや」や※ヤングアダルトコーナーなどを設置し、子どもを対象とした読書活動を展開していますが、施設の老朽化や狭隘化が進んでいるため、利用者が安心して利用できる施設の整備とともに、限られた開架スペースを工夫して活用することが求められています。

また、障害者や外国人の児童生徒など特別な支援が欠かせない子どもたちが、本に触れ親しむことのできる読書環境の整備も課題となっています。

一方、図書館サービスとして、個人向けにはインターネットによる図書の予約や受取館の指定、返却ポストの設置やリクエストによる図書購入等、団体向けには※学校貸出、団体貸出、リサイクル本の配布等を行っていますが、図書館ではこうした便利なサービスが、市民に広く知れ渡るように努める必要があります。

さらに、子どもの読書活動を推進する取り組みとして、ボランティアと協働で読み聞かせなどを行うだけでなく、ボランティア育成講座の開催や研修活動への支援など人材の育成を図る必要があります。

【取り組みの基本方針】

図書館では、引き続き図書資料の整備により魅力ある蔵書を揃えるとともに、子どもが読書に親しむことができる行事の開催や司書による※レファレンスサービスなど、保護者が子どもを連れて来館できる雰囲気づくりやPRに努めます。また、ボランティアと協働で「読み聞かせ講座」をはじめとする子どもの読書に関する講座を充実させ、人材育成を図ります。

さらに、子どもの発達段階に応じた取り組みを行うほか、障害児や外国人児童生徒を含むすべての子どもたちが本に出会う機会を創出するため、民間支援団体やボランティアなどとの連携・協力のもとに読書環境を整備し、図書館サービスのバリアフリー化を進めます。

【具体的な取り組み】

① 児童図書の整備・充実及び調べ学習の支援

子どもの年齢やニーズに応じた児童図書の整備・充実を図るとともに、レファレンスサービスや※パスファインダーの作成等により調べ学習の支援を行います。

② 中高校生向け図書資料の整備や図書館サービスの充実

10代の子どもたちを対象とした図書資料の収集・整備や特設コーナーの設置、情報誌の配布などの図書館サービスを図ります。

③ 発達段階や障害の状態に応じた図書館サービスの展開

図書館を利用する際の介助、郵送貸出、自宅訪問による読み聞かせなど、障害のある子ども一人ひとりの状況に応じた図書館サービスの展開を図ります。

④ 外国人児童生徒向け図書資料の整備や図書館サービスの充実

司文庫を活用した外国語の絵本の読み聞かせや、外国語の教科書や絵本、日本語習得や母国に関する資料等の収集・整備を進め、外国人児童生徒のニーズに応じた図書館サービスの充実を図ります。

⑤ ボランティアとの協働による子どもを対象とした事業の開催

おはなし会や赤ちゃん広場の開催等、ボランティアと協働による事業を積極的に実施します。

⑥ ボランティアの育成と研修の充実

さまざまな場面で活動するボランティアが、読み聞かせの技術の向上や知識を深めるため、育成講座や研修会を開催します。

⑦ 学校図書館との連携の推進

学校での読書活動を推進するために、授業・学習支援センターとの連携を深め、図書資料の迅速な提供など支援体制の充実を図ります。

⑧ 子どもの読書活動に係る職員の育成

児童サービスにまつわる研修の受講や他都市図書館との情報交換などにより、職員のスキルアップを図ります。

【重点施策】

重点施策	目標指標	現況	目標値
◆児童図書の整備・充実及び調べ学習の支援	児童図書貸出冊数	冊	冊
◆発達段階や障害の状態に応じた図書館サービスの展開	*図書館における年間の児童図書貸出冊数	486,131	550,000
◆外国人児童生徒向け図書資料の整備や図書館サービスの充実			

(2) 市民館等の役割

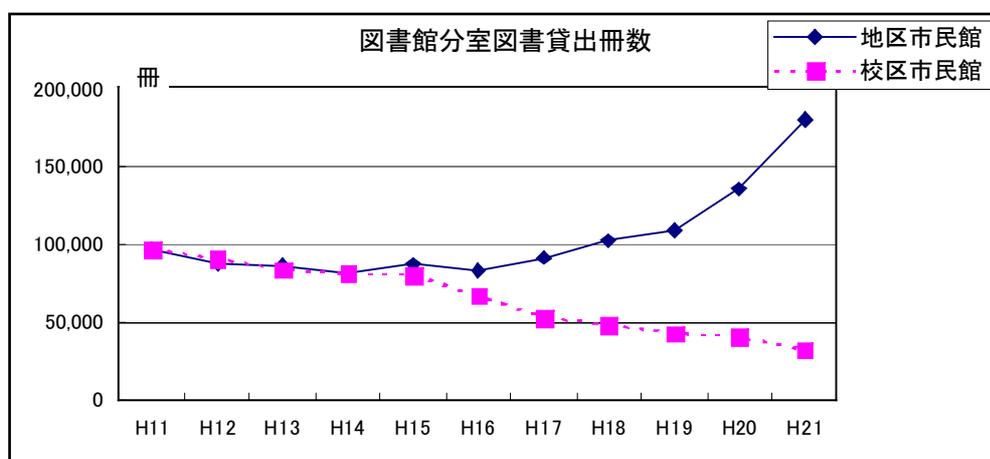
地区市民館や校区市民館等には図書館分室を設置し、図書館の児童図書を中心とした※集配本業務により、魅力ある蔵書の整備に努めています。市民に身近な施設である市民館等は、本市のような広大な市域において、均衡な図書館サービスを提供する役割を担っています。

【現況と課題】

図書館システムとネットワークで結ばれている7か所の拠点的地区市民館やこども未来館では、図書館の図書資料がすべて検索できるため、貸出、返却以外に予約や受取など、図書館と同様のサービスを楽しむことができます。また、ボランティアが図書館と連携して行う「※市民館おはなしのへや」をはじめ、各館が主催する子ども向けの行事が行われています。

しかし、ネットワーク化されていない市民館を利用する子どもは年々減少しており、子どもの読書活動に関する取り組みがあまり行われていないところもあります。

したがって、各市民館の利用状況を十分把握し、それぞれの地域に見合った形での図書の整備や読書活動に関する取り組み方を改めて検討する必要があります。



【取り組みの基本方針】

市民館等では、図書館機能や児童図書の整備・充実を図るとともに、子どもの読書活動を推進する読み聞かせなどの行事を開催します。

市では、外国人が多く居住する地域の市民館への外国語絵本の※配架など、各地域の利用状況に応じた効果的な整備を進めていきます。また、市民館等で実施する読書活動の状況や課題を的確に把握し、関連する団体と一層の連携を図られるよう情報交換を行うとともに、人材育成の支援を推進します。

【具体的な取り組み】

- ① **読み聞かせなど子どもの読書活動に関する取り組みの充実**
ボランティアの協力による読み聞かせや読書活動に関する講座等の充実を図ります。
- ② **図書館機能や児童図書の整備・充実**
利用状況や地域住民のニーズに応じて図書館機能や児童図書の整備・充実を図ります。
- ③ **図書館サービスに係る職員の研修の充実**
増加する利用者にスムーズに対応するため、市民館主事等への図書館サービスのマニュアル配付など研修の充実を図ります。

【重点施策】

重点施策	目標指標	現況	目標値
◆図書館機能や児童図書の整備・充実（市民館等）	児童図書貸出冊数 *こども未来館と市民館等における年間の児童図書貸出冊数	冊 118,534	冊 140,000
◆図書館との連携による児童図書の整備・充実（こども未来館）			



「市民館おはなしのへや」での読み聞かせ

(3) こども未来館の役割

こども未来館は、乳幼児とその保護者が自由に絵本にふれることができる子育てプラザ絵本コーナーや本に親しめる体験・発見プラザ図書コーナーが整備されており、子どもを中心として様々な世代の人々がふれあう場と機会を提供し、子どもの健やかな成長及び市民が交流する手段としての役割を担っています。

【現況と課題】

乳幼児とその保護者を対象とする子育てプラザでは、絵本コーナーを常設し、企画コーナーでは読み聞かせや紙芝居等の取り組みを行っています。また、機関紙である「ここにこ通信」に子ども向け図書を紹介するコーナーを設けて優良図書をPRしています。さらに、各地域で開設している「ここにこサークル」でも、読み聞かせなどの読書活動を実施しています。

こうした取り組みを継続して行っていくには、研修や他の団体との情報交換により、ボランティア等のスキルアップを図ることが必要です。

【取り組みの基本方針】

こども未来館では、体験・発見プラザ図書コーナーの機能や児童図書の充実を図るとともに、イベント、資料展示、機関紙を利用した優良図書の紹介等、子どもの読書活動に関する取り組みを積極的に推進していきます。

さらに、こうした各種事業について、ボランティアの活動状況や課題を的確に把握し、図書館など関連する部署と一層の連携が強調されるよう情報交換や人材育成を図っていきます。

【具体的な取り組み】

① 読み聞かせなど子どもの読書活動に関する取り組みの充実

ボランティアの協力による読み聞かせや紙芝居、人形劇等を取り入れ、ふれあい、遊びながら楽しめる読書活動の推進を図ります。

② 保護者に対する子どもの読書活動の意義や重要性の啓発

保護者向けの絵本に関する講座の開催、優良図書の紹介等により、読書活動に関する意義を保護者に伝えます。

③ 図書館との連携による児童図書の整備・充実

図書館と連携を深め、図書情報や市民ニーズを十分把握して、児童図書の整備・充実を図ります。

④ 子ども読書活動に係るボランティア等の育成と研修の充実

こども未来館や「ここにこサークル」のボランティア等が、読み聞かせの技術の向上や知識を深めるため、講座や研修会を開催します。

【現況と課題】

「子ども読書の日」(4月23日)は、積極的に読書活動を行う意欲を高めることを目的に設けられており、その認識率は平成16年度と比較して31.4ポイント増加しています。今後は具体的な取り組みを幅広く実施し、内容を充実させる必要があります。

また、図書館では季節や時事にあわせたコーナーの設置や中高校生向け情報誌の発行など、魅力ある図書の普及に向けてPRを行っていますが、年齢別による利用者のニーズを把握し、効果的な情報提供を図ることが大切です。

子どもの読書環境を充実させるためには、家庭・地域・学校等と行政が一体となった取り組みが必要であり、それには各々が有する情報を共有化することが求められます。

【取り組みの基本方針】

市では引き続き「子ども読書の日」の市民への周知・普及を図るとともに、「こどもの読書週間」や「秋の読書週間」において子どもの読書活動への関心を高める取り組みを展開します。

また、優良図書の情報や学校、図書館、地域等で読書活動に取り組む人々の状況を把握し、情報の共有化を図るとともに、家庭に向けても魅力ある図書などの情報をホームページで発信していきます。

【具体的な取り組み】

① 子ども読書活動の意義や重要性の普及・啓発

「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」を活用して、読み聞かせや講座の開催など、その趣旨にふさわしい取り組みを実施します。

② 優れた取組事例の収集・紹介

読書活動に関する他都市の優れた取組事例を収集し、ホームページにより紹介します。

③ 子ども読書活動に関連する団体の情報共有化

学校や市民館等が開催する行事やボランティアに関する情報を収集し、ホームページの活用などにより情報の共有化を図ります。

④ 優良図書、魅力ある図書リスト等の配布

優れた本や話題性のある本など、年齢に応じておすすめの本を紹介する情報誌を学校など通して家庭に配布します。

⑤ ホームページを活用した情報提供

子どもの読書活動に関する様々な情報を、ホームページを活用して提供します。また、インターネットによる図書の予約など図書館の便利な仕組みを活用できるように、子どもが見やすく使いやすいホームページを提供します。

【重点施策】

重点施策	目標指標	現況	目標値
◆子ども読書活動の意義や重要性の普及・啓発	「子ども読書の日」における取り組み実施率 *学校や市民館等において、「子ども読書の日」に関連し、その趣旨にふさわしい活動に取り組んでいる施設の割合	25.4%	100%



ブックカバー作り（子ども読書の日記念行事）

(1) 子どもの読書活動推進体制の整備

【取り組みの基本方針】

本計画を推進するためには、家庭、地域、保育所・幼稚園、学校と行政が一体となった総合的な取り組みを進めなければなりません。したがって、関係機関や団体等と情報の共有化を図るとともに、それぞれが取り組むべき施策を推進するための体制を整備し、連携強化に努めます。

そして、計画に掲げた施策の進捗状況を把握しながら、効果や課題を検証し、平成27年度までに達成する目標指標と目標値を明確にして、子どもの読書活動の推進に取り組みます。

【具体的な取り組み】

① 子どもの読書活動推進体制による検証

市の関連する部署で構成する豊橋市子ども読書活動推進幹事会議により、計画実現のため取組状況を把握し、各施策の進捗管理を行います。

② 子どもの読書活動推進ネットワークの形成

保育所・幼稚園、学校、図書館・市民館等、幅広く連携し、定期的に情報交換を行うことで、家庭や地域に対し子どもの読書活動の推進を図ります。

(2) 子どもの発達段階別取り組み

本計画では子どもが成長するに従い、自ら本に親しみ、進んで読書習慣を身につけていけるように、子どもの興味・関心を尊重しながら発達段階に応じた読書活動に関する取り組みを実施していきます。

【子どもの発達段階別取り組み】

出生前

- (出産を控えた夫婦に対する)子ども読書活動の意義や重要性の啓発
【保健所・保健センター、図書館】

誕生

親子の触れ合いと温もり、絵本との出会い

- 「初めての絵本との出会い」事業による親子への読み聞かせや絵本配付
【保健所・保健センター、図書館】
- 絵本や児童図書の充実 【保育所・幼稚園、図書館、こども未来館・市民館等】
- 読み聞かせ等の実施 【保育所・幼稚園、図書館、こども未来館・市民館等】

小学校入学

多くの友人との出会い、さまざまな本との出会い

- 「朝の読書タイム」の実践 【小学校】
- 学校図書館の整備 【小学校】
- 児童図書の充実 【小学校、図書館、こども未来館・市民館等】
- 読み聞かせ等の実施 【小学校、図書館、こども未来館・市民館等】
- 小学生向けの講座や催しの開催 【図書館、こども未来館・市民館等】
- 小学生向け優良図書の紹介や情報誌の発行 【小学校、図書館】
- 調べ学習の支援 【小学校、授業・学習支援センター、図書館】

中学校入学

幅広い分野の良書に親しみ、自ら考え表現する力を育む

- 「朝の読書タイム」の実践 【中学校】
- 学校図書館の整備 【中学校】
- 図書資料の充実 【中学校、図書館、市民館等】
- 職場体験受入れ 【図書館】
- 中学生向けの講座や催しの開催 【図書館】
- 中学生向け優良図書の紹介や情報誌の発行 【中学校、図書館】
- 調べ学習の支援 【中学校、授業・学習支援センター、図書館】

義務教育終了

本との関わりを深め、より専門的な知識や技術を身につける

- 学校図書館の整備 【高等学校】
- 図書資料の充実 【高等学校、図書館】
- 出前講座、職場体験受入れ 【図書館】
- 高校生向けの講座や催しの開催 【図書館】
- 高校生向け優良図書の紹介や情報誌の発行 【高等学校、図書館】

新たな出発

本を生涯学習の友として、新たなステージへのお出立

【目標指標一覧】

区分	目標指標	現況	平成27年度 (目標値)
家庭	乳児への絵本配付率 * 4か月児健康診査時に絵本を配付した乳児の割合	100%	100%
地域	ボランティアによる子どもの読書活動の実施率 * 市民館等で読み聞かせボランティアによる読書活動を開催している校区の割合	80.8%	100%
保育所・幼稚園	読み聞かせ実施率 * 日常的に読み聞かせや紙芝居などを実施している園の割合	96.1%	100%
小学校・中学校	朝の読書実施率 * 授業開始前などの時間に、日常的に読書を実施している学校の割合	97.3%	100%
	学校図書貸出冊数 * 学校図書館における年間図書貸出冊数	846,788 冊	950,000 冊
図書館	児童図書貸出冊数 * 図書館における年間の児童図書貸出冊数	486,131 冊	550,000 冊
市民館・こども未来館等	児童図書貸出冊数 * こども未来館と市民館等における年間の児童図書貸出冊数	118,534 冊	140,000 冊
理解・関心の普及	「子ども読書の日」における取り組み実施率 * 学校や市民館等において、「子ども読書の日」に関連し、その趣旨にふさわしい活動に取り組んでいる施設の割合	25.4%	100%